

2014年実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座《議事録6 限目》 最終回

《講座のメインテーマ》
防災・減災の考え方と対応策を学び、
地域の防災力を高める

投稿者:講座協力者 白田 克雄
◆開催日時:2014年11月27日(木)13:30~17:00
◆開催場所:KUポートスクエア

◆本日のテーマ◆ 《講座に参加しての総合評価と自分の目標を定める》
前半:防災塾・だるまの先輩から学ぶ/受講者が聞きたい事項を先輩から回答する/先輩の苦労話を聞く
後半:防災塾・だるまで学んで、防災活動家として地域デビューしよう/まとめと発表を行う。災害時要援護者が地域で生きる。
講師:伊東 幸保((神奈川県二ツ谷町会防災部長)

■前半

テーマ『神奈川県二ツ谷町内会自主防災活動のポイントは?』
★町内会の防災部長として活動するためには、防災知識を養うこと。
★自主防災組織を立ち上げる。(①町会3役 ②防災部 ③作業部会 ④班長会議)
★防災組織の役割分担を明確に決める。①災害対策本部 ②情報管理班 ③資機材管理及び救出班 ④救護医療班 ⑤食料物資班 ⑥要援護者班 の6班を構成した。
★これからの課題
①防災マニュアルの整備 ②要援護者対応マニュアルの作成 ③安否確認の要領書作成
④人材の確保に取り組む ⑤追加整備する資機材(例えばスタンドパイプなど)



講師:伊東 幸保氏

※聴いた話を今後の活動につなげて行くかはご本人次第

■後半

テーマ『学んだことを地域にどう活かそうか』(災害時要援護者が地域で生きるのほ も含む)
各班に分かれて、ワークショップ形式を取り入れて行う。
★防災意識を高めることが必要。
★防災訓練は繰り返し行う事が必要。
★大和市は消火用スタンドパイプや救護用AEDなど「コンビニ」へ置くことをコンビニ側と協定した。
★自治会・町内会に関わる難しさが話題になっていた。
★地域防災活動は①自治会町内会 ②連合自治会 ③防災拠点(避難所)のトライアングルで、自ずから通常の防災訓練などを含め内容は異なる。



班別議論姿



《まとめ》 ◆地域活動に必要な心得
★皆で力を合わせて事をやり遂げようとするとき
『ゆっくり 急いで』
『熱い心と冷めた脳』
『つどう つくる つながる ひろがる』
★ときとして
『群れない 慣れない 頼らない』
★物事の実効とは
『イメージ 気づく 考える 決める』



講座修了授与



司会 :山田美智子氏

